

アスベスト（石綿） Q&A

アスベストとは？基礎編

Q 1	アスベストとは？
A 1	天然にある蛇紋岩系および角せん石系の繊維状鉱物のことです。 種類としてはクリソタイル、クロシドライト（青石綿）、アモサイト（茶石綿）などがあります。 アスベストは、耐熱性、耐磨耗性、耐腐食性などに優れるため、建材を中心に巾広く使用されてきましたが、平成16年10月1日よりアスベストの使用が禁止されました。
Q 2	吹付アスベストとは？
A 2	「吹付アスベスト」は、アスベストにセメント等の結合材と水を加え混合し、吹付け機を用いて吹付けたものです。1955年（昭和30年）頃～1980年（昭和55年）に、壁・天井・梁・柱などに防火・耐火・吸音・断熱の目的で使用されました。また、同様の用途で使用している「吹付けロックウール」にも、1980年（昭和55年）まではアスベストを混合した場合があります。
Q 3	アスベストとロックウール（岩綿）、グラスウールは違うものですか？
A 3	別物です。アスベストは天然の繊維状鉱物であり、ロックウール（岩綿）やグラスウールは人工繊維です。ロックウールやグラスウールはアスベストよりも繊維が太い特徴があります。
Q 4	どうして危険なのですか？
A 4	石綿は、丈夫で変化しにくいいため、吸い込んで肺の中に入ると組織に刺さり、15～40年の潜伏期間を経て、肺がん、悪性中皮腫（悪性の腫瘍）などの病気を引き起こすおそれがあります。目に見えないくらい細い繊維のために、気づかないうちに吸い込んでしまう可能性があります。
Q 5	石綿使用の確認方法は？
A 5	事前調査において、吹付け石綿使用の有無は、まず、建物の設計図書で調査します。建物の竣工年、吹付け石綿が使用された期間（昭和30年頃～昭和55年頃）、建物に使用されている吹付け石綿の商品名などから調査することができます。設計図書で確認できない場合は、現場での目視調査を行うこととなりますが、設計図書による調査、現場目視による調査は、あくまでも特定のための目安となる手法であり、また、施工から年数が経過している場合などは簡単に判定することは難しいため、専門の分析機関に依頼し、分析調査による判定を行うことが望まれます。

アスベスト建材など編

Q 1	アスベストが使われている建物内は危険ですか？また、住宅用の断熱材は大丈夫ですか？
A 1	<p>露出していない状態のアスベストは、劣化したり解体したりしない限りは、空気中に飛散する可能性が低いと考えられます。</p> <p>また、住宅用断熱材にあっても、同様です。</p>
Q 2	いま使っている建物にアスベストが使われているか、可能性だけでも判断できませんか？
A 2	<p>吹き付けアスベスト以外にも、アスベストを含む建築資材がありますが、使われていた期間に特徴があります。</p> <p>たとえば、吹き付けアスベストが禁止となった昭和 50 年（1975 年）が判断の区切りになります。昭和 50 年以前に立てられた建物には、完全にアスベストが使われていると考えて間違いないでしょう。当時の設計図面などにアスベスト使用が記載されている場合があります。吹き付けロックウールにアスベストを混ぜたものも昭和 55 年（1980 年）まで使用されていました。これもこの年に禁止となっています。</p>
Q 3	建材にアスベストが使われているか否かは、どうしたら分かりますか？
A 3	<p>（社）日本石綿協会会員企業の製品にはラベルや「a」マークが表示されています。</p> <p>しかし、古い製品や、吹き付けられた断熱材等にアスベストが使われているかどうかは、専門の測定機関による化学的な検査を行わなければ分かりません。</p> <p>また、建築当時の施工業者かお知り合いの業者へ問い合わせ確認する方法もあります。</p>
Q 4	吹き付け剤にアスベストが含まれているか検査したいのですが？
A 4	<p>アスベストの有無についての調査は、長野県労働基準協会上田測定所（Tel：64-1151）へお問い合わせ下さい。</p> <p>詳しくは、上記測定所にお問い合わせください。</p>
Q 5	アスベストを含む製品にはどのようなものがありますか？
A 5	<p>建築物では、以下の 5 つの資材にアスベストが含まれています。日本ではアスベストの 9 割が建材に使われています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石綿セメント円筒 ・押出成型セメント板 ・住宅屋根用化粧スレート ・窯業系サイディング ・繊維強化セメント板 <p>この他、自動車のクラッチやブレーキに摩擦材として使用されています。</p> <p>以前は、ヘアドライヤーなどの家電製品、ベビーパウダーに使用されていたこともあります。</p> <p>もちろん現在製造されている製品にアスベストは使用されていません。</p>
Q 6	アスベストを固型化したもの（屋根材や床用タイルなど）は問題ありませんか？
A 6	<p>アスベストが人への影響をもたらすのは、呼吸によって取り込まれる一定のサイズの繊維と考えられています。従って、空気中に飛散することがない状態では人体への影響はないといわれています。</p> <p>アスベストを何らかの形で大気と遮断することができる場合は飛散しませんから、特に問題とならない訳です。アスベスト製品はセメント等でアスベストを固定してあるため、切断等の行為をしない限り、影響を及ぼすことはありません。</p>

アスベスト健康編

Q 1	どんな症状が出ますか？特有の症状はありますか？
A 1	特有の症状はありませんが、咳や、胸痛、呼吸困難などの症状が出ることがあります。しかし、ある程度進行するまでは無症状のことが多いといわれています。アスベストの繊維は、アスベスト肺（肺繊維症（じん肺）という病気の一つ）、悪性中皮腫の原因になるといわれ、肺がんを起こす可能性があることが知られています（WHO報告）。アスベストによる健康被害は、アスベストを吸引してから長い年月を経て出てきます。例えば、中皮腫は平均 35 年前後という長い潜伏期間の後、発病することが多いとされています。
Q 2	症状が気になり、不安に思う場合はどこに行けばよいでしょうか？
A 2	咳、胸痛、呼吸困難などの症状がある方やその他特にご心配な方は、呼吸器科のある医療機関に相談されることをお勧めします。
Q 3	健康不安などについては、どこに相談すればいいですか？
A 3	アスベストに係る健康被害や健康不安について、市や県で健康相談窓口を開設しています。
Q 4	吸い込むとどうなりますか？
A 4	アスベストを吸い込むと、他のチリやホコリと同様に異物として一部は痰により体外に排出されますが、排出されないものは肺の中に蓄積します。 数ミクロン～数十ミクロンの長さのアスベスト粉じんを吸引すると、針状のアスベストは肺に突き刺さり、結果として以下のような健康影響を与えることがあります。 <ul style="list-style-type: none"> ・アスベスト（石綿）肺 ※じん肺の一種 ・アスベスト（石綿）肺がん ・悪性中皮種（胸膜、腹膜、心膜、精巣しょう膜） ・良性石綿胸水（石綿胸膜炎） ・びまん性胸膜肥厚 ※臓側腹膜の病変
Q 5	アスベストをどの位吸い込むと病気になりますか？
A 5	アスベストの吸入量と中皮腫や肺がんなどの発生率との間には相関関係が認められていますが、どの程度の量を吸い込むと発病するかはわかっておりません。
Q 6	過去にアスベストを吸い込んだ可能性がある場合、どこに相談すればよいですか？
A 6	過去にアスベストを吸い込んだ可能性がある方、呼吸困難や咳及び胸痛などの症状がある方、その他心配な方は専門の医療機関へご相談ください。 また、アスベストによる病気が発症しているかどうかの検査方法としては、胸部X線検査や胸部CT検査などがあります。
Q 7	アスベスト工場で働いていたのですが、家族の健康診断はどうすればよいですか？
A 7	ご心配な方は専門の医療機関に相談されることをお勧めします。
Q 8	現在肺疾患にかかっていますが、アスベストとの関係はありますか？
A 8	過去にアスベストを吸入する恐れのある仕事をしていた場合は、医師に詳しく説明し診断を受けてください。
Q 9	家族が中皮腫で死亡しましたが、アスベストとの関係はありますか？
A 9	職業歴にアスベスト又はアスベスト関連製品を取り扱う事業所等に従事していた可能性がありますら、長野労働局（Tel：026-223-0554）又は上田労働基準監督署（Tel：22-0338）へご相談下さい。

アスベストその他編

Q 1	いつ頃まで使われていましたか？
A 1	アスベストはその優れた性質により、昭和 30 年から 50 年代にかけて大量に輸入されました。それらの多くは建材として用いられましたが、昭和 50 年からはアスベストの吹き付け作業が原則禁止になり、その後段階的に規制されていきました。また、平成 17 年 7 月、全面使用禁止の方針が国から示されています。
Q 2	どんなところに使われていますか？
A 2	ビル等の建設工事において、鉄骨の柱・梁（はり）の耐火被覆や保温断熱、吸音の目的でアスベストを吹き付けて使われていました。また、屋根用スレート材などの建材のほか、車のクラッチやブレーキなどの摩擦材に使用されてきました。
Q 3	一般の住宅にも使われていますか？
A 3	屋根材等の建材や、鉄骨造の建物にあっては柱・梁（はり）の耐火被覆として使われている場合があります。なお、木造住宅にはあまり使われていないと思われます。
Q 4	水道管に使用されていたと聞きましたが？水道水に問題はありますか？
A 4	以前は、石綿管が使用されていました。 しかしながら、水道用管として使用する場合において、水道水の飲用による健康への影響は報告されておりません。
Q 5	あんかは大丈夫ですか？
A 5	現在、あんかに使用されている、素材は、ロックウールやグラスウールであり、アスベストではありません。